

歴史古街道団 ガイドリーダーと行く“縄文ロード探索”

講師ガイド：富田昭夫（団員） 連絡先 080-6754-1800

申込不要（当日現地受付） 参加費（保険料・資料代込）：一般 1,000 円 団員 500 円（高校生以下無料）



縄文ロードのランドマーク 津久井 城山



川尻遺跡の柄鏡形敷石住居跡

奥相模野の 3つの縄文環状集落遺跡と縄文ロード

- 日時：2023年3月11日（土）9：45 雨天中止
- 集合：JR 横浜線「橋本駅」2階駅前（ミウヰ橋本前広場）
- 解散：JR 横浜線・京王相模原線「橋本駅」15：30 頃
- 持ち物：自由昼食（コピー：ファミレスなど飲食店有）飲み物 雨具 筆記用具

【内容】多摩丘陵にはハケ岳西麓と、同じ文化と思われる縄文時代の土器、石器、道具、住居、集落跡など、が出土する。実に 150 km 弱にわたる範囲が何らかの形で繋がっていたことになる。この範囲を富士眉月文化圏といい、当団ではこの中の文化を繋ぐ「道」を“縄文ロード”と名付け、その存在を探っている。

相模川が山間部から大きくカーブして平地に出る奥相模野付近で相模川に沿って東へ向かってきた「道」はそのまま多摩丘陵に上がり、今の多摩ニュータウンに達する。この地域では縄文中期の黒曜石やハケ岳西麓と類似した土器の破片を拾うことができる。また周辺には八王子の七国峠を通り、勝坂へ向かう南北の「道」がこの地区で交差する。そこに、相模川、谷津川を挟んで縄文時代中期の3つの環状集落である原東遺跡、川尻中村遺跡、川尻石器時代遺跡が位置している。標高は 110m、140mの2段である。当団では 有志による探索会を 2017 年に立ち上げ、大月までの古甲州街道ウォークを続けてきた。

今回はこの奥相模野で川を挟んで至近距離にある3つの大きな縄文環状集落を訪ね、「縄文ロード」と交差する場所やその関係などを探ります。



「橋本駅」9：45 集合（駅前2階広場）……橋本駅北口 1 階バス乗り場（1 番乗り場「三ヶ木」行 10：00 発）～「森の上」バス停～川尻八幡直線参道下～屈曲ポイント～相模川河岸段丘の淵（カインズホーム脇）～「コピー」（昼食、WC）～小倉橋～八幡神社～原東遺跡～川尻中村遺跡～川尻石器時代遺跡～「城山総合事務所」バス停（WC）～「橋本駅」解散 15：30 頃
*都合により変更の場合有り

*天候その他の理由により、日程やコースが変更する場合があります。事前に歴史古街道団のホームページなどでご確認ください。（当日のお問い合わせは、朝 7：30 まで。電話：080-6754-1800 富田）
またご参加の際は、ご自身の体調をご確認の上、マスク着用など対策を講じてお出かけください。



歴史古街道団
本部：東京都多摩市 <http://rekkodan.com/>

